

順心広尾学園同窓会会報

けやき

〈発行〉
順心広尾学園同窓会
〒106-0047
東京都港区南麻布5-1-14
広尾学園中学校・高等学校内

〈印刷〉
株式会社 サラト

平成30年同窓会総会のご案内

日頃より同窓会活動にご協力いただき誠にありがとうございます。
本年も同窓会総会を以下の通り開催いたします。また、参加費は当日
受付にてお支払いください。

総会・懇親会：6月23日（土） 14：30～16：00

場 所：カフェレストラン

参加費：1,000円（平成29年度卒業生は参加費無料です。）





100周年にむけて

同窓会会長 松村 佳苗

同窓会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
本年、広尾学園は100周年を迎えます。

この100年の歴史を作り、またこれから更なる学園の発展へと繋がるように微力ながら同窓会もそのサポートが出来る存在であり続けられるように、皆様と学園と共に歩んで参りたいと思っております。

今後は、若い卒業生にどのように参与して頂くかを含め、いろいろなことに取り組んでいく所存でございます。

今後とも、ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

副会長 小沼 洸生

平素より順心広尾学園同窓会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本年度も前年度に引き続き副会長を務めさせて頂いている小沼洸生と申します。本年2018年は学校法人順心広尾学園が前身である順心女子高等学校、更に遡ると順心女学校が設立された1918年から数えて100周年の節目の年となります。自身はこの長い順心から広尾へと連綿と紡がれている歴史の中では、広尾学園高等学校5期生という若輩の身ではありますが、順心と広尾を繋ぐ存在となるべく、より一層の努力をして参ります。結びに会員の皆様には、引き続き同窓会の活動へのご理解、ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

卒業生の皆さんへ

副校長 金子 暁

昨年、学園では久しぶりの順心の同期会が開かれ、その後も違う代の同期会が続いた。どちらも私の感覚では、比較的新しい世代の生徒たちという印象だったのだが、何と卒業後30年だという。部活のつながりで何度か会っている者もいるが、30年ぶりに会う卒業生がほとんどで、私とも目が合った瞬間「え？」となり、「えーっ!!」と続く。相手を認識できるまで少し時間が必要なのだ。

だが、卒業生たちの顔の表情の中でも、その目の動きを注視していると生徒時代の姿の記憶があっという間に甦ってくる。話し方も声も生徒の当時のままだ。名前がすぐ出て来ないこともあるが、けやきの下を走っている姿やけやき祭で腕章をつけている姿が数日前のことのように思い出せる。さながら時空を超える「ワープ」状態だ。

青春時代は、これから先のことにしか意味や価値



を認めたがらないものだと思う。しかし、一方で、私は中高生時代に自分が走り回った裏山や古い学校の校舎を何気なく訪れることが何度もあった。そこには何の目的もない。なぜ、自分がそうするのもずっと分からなかった。かつて自分がいた場所、空気、風のなかに自分の身を置くだけなのだが、これは「意味」や「価値」とは無関係に、自分自身の奥底にある感性のようなものがそうさせているのではないかと最近思うようになった。

今の学園には、少し細っそりしたけやきの木や玄関口にあったソテツ以外、順心時代の面影はほとんど残っていない。けれども、かつて時を過ごしたその場所と通り過ぎる風の感覚は昔も今も同じである。それを感じるために、かつて中学生、高校生だった自分自身を感じるために、卒業生諸君にはぜひ来校してほしいと思う。そして、久しぶりの同期会なども開いてもらえたらと思う。

順心女子学園から広尾学園に名前は変わり、たとえ順心時代を知る教職員が少なくなっても、あの頃の自分がいた場所はここなのである。



5月30日、母校は創立100周年を迎えます。

大正7年、板垣退助（伯爵 内務大臣）、夫人絹子たちを中心に順心女学校が設立されて以来、学園の先人たちはここ広尾町（現南麻布）の地において、数多くの生徒たちの育成にあたり、その未来を支え、教育の発展に尽力してきました。

沿革

- 大正7年 順心女学校設立（下田歌子校長）
- 大正13年 大日本婦人慈善会を大日本婦人共愛会に改名、
順心高等女学校の開設認可（下田歌子校長）
- 昭和4年 順心高等女学校五年制に改正
順心女学校を夜間部とし、順心夜間女学校と改名
- 昭和9年 創立10周年記念式挙行
- 昭和22年 学校教育法による新制中学、順心中学校設立
港区立順心中学校を併置（～昭和27年）
- 昭和23年 新学制による順心女子高等学校設立
新校歌誕生（土井晩翠作詞）
- 昭和26年 学校法人順心女子学園発足
- 昭和48年 帰国子女の受け入れ開始
- 昭和49年 創立50周年記念式挙行
- 昭和51年 創立50周年記念事業として校舎増築工事起工
- 昭和59年 創立60周年記念式挙行
- 昭和61年 校舎改修工事完成
- 平成元年 順心英語ビジネス専門学校設立
創立70周年記念式挙行
- 平成2年 校外施設富士見スコレー落成
- 平成18年 特進コース開設
文部科学省のSELHi（スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール）指定校となる
（～平成20年）
- 平成19年 広尾学園中学校・高等学校に改称し、共学化
インターナショナルコースを設置
J8（ジュニア・エイト）サミット日本代表として
G8ハイリゲンダム・サミット（ドイツ）に参加
- 平成21年 新校歌（「君と過ごした季節」）制定
- 平成22年 中学のインターナショナルコースに
スタンダードグループを設置
- 平成23年 高校に医進・サイエンスコースを設置
- 平成27年 中学に医進・サイエンスコースを設置



けやきの下でなぎなたの授業



下田歌子校長講話



木造校舎時代のけやき祭



木造校舎正面



旧制服（高校）



中学棟完成（昭和53年）



旧制服（高校）



旧制服（中学）と旧赤レンガの校門



箏曲の授業（礼法室にて）



現在の制服（中・高）



体育祭の高3生による「扇の舞」（人文字）

同期会 の ご報告

昭和63年度卒業生同期会

発起人6名により、この度私たちの学年が一堂に会することができました。いつまで経っても教え子と先生という関係性は変わりませんが、私たちは世間で言う“アラフィフ”になり、先生方もまた歳を重ねていらっしゃいます。会える時に会う機会を作りたいと思い、変貌を遂げた母校で開催させて頂きました。

ご多忙の中、また遠方よりお越しになった皆様や先生方と懐かしくも楽しい日々を過ごすことができました。ありがとうございました。開催にあたり、学園及び同窓会事務局のご支援を頂いたことに、この場を借りて感謝申し上げます。

平成29年10月25日開催

発起人代表 廣橋（旧姓 田中）順子



平成5年度卒業生同期会

私たち平成5年度卒業生は、卒業以来はじめての同窓会を昨年7月8日に学園内カフェテリアで行いました。新しい校舎をひと目見ようと、また当時の先生方や旧友との再会にたくさんの同級生が集まってくれました。プロジェクターをお借りし自主制作したスライドを見ながら、先生方と当時の思い出話に華を咲かせました。

同期会を学園内で行うのははじめてとお聞きし、これを期に活用の方が広まることを期待しつつ、ご協力いただきました先生方には心より感謝申し上げます。

平成5年度卒業生一同



Pick Up Person



「HIROGAKU PRESS」掲載について

PTA広報紙「HIROGAKU PRESS」115号に同窓会の紹介記事が掲載されました。
松村会長・小沼副会長・坂田会計の三名のインタビューを是非ご覧ください。

今回の Pick up person では「順心広尾学園同窓会」についてご紹介します。
長い歴史を持つ順心時代から、共学化し校舎も様変わりした広尾学園の現在まで、
同窓会は卒業生の活動を陰ながら支え続けている存在です。

——最初に、現在の同窓会役員メンバーと活動についてご紹介ください。

同窓会本部は会長（松村佳苗さん 順心70回生）、副会長（小沼洗生さん 広尾5回生）、会計（坂田有紀さん 順心70回生）を含む7名と、教職員窓口の曾我部先生、池上先生で運営しています。主な活動は4月に会報誌の発行、6月に総会と懇親会の開催、けやき祭での肉まん・ポップコーンの販売や卒業生ルームの運営、卒業証書ホルダーの進呈などです。在校中から毎月100円を同窓会費として頂いており、現在は卒業と同時に卒業生全員が会員となっています。

——松村会長、会計の坂田さんが同窓会運営に関わったきっかけは？

順心時代は私たちのように生徒会役員だったメンバーは、卒業後2年間は同窓会の仕事を手伝う習慣があったため大学時代にお手伝いをさせて頂いていました。そのとき学園が女子校（順心）から共学（広尾学園）に変わり、それまで同窓会を運営されていた方々から「広尾学園としての新しい同窓会を作り上げて欲しい」と会長職を託されたのがきっかけです。

——松村会長が在籍していた約20年前、順心はどのような学校だったのでしょうか。

当時は一学年9クラス、各45名以上の大人数で、校庭にプレハブ校舎を建てていたほどでした。またけやき祭では、タイムテーブルから予算・プログラムまで生徒会が中心となって主体的に決めていました。委員会活動も活発で、良いものを作るため生徒会との衝突も多々ありましたが、自分たちで全てを作り上げた経験はとても貴重な思い出です。制服も何度か変わり、私たちが愛着をもって「ローソン」と呼んでいたストライプのブラウスや、石で造られたアーチが特徴的な歴史ある校舎など、母校には思い出がたくさんあります。

——同窓会も順心から広尾に変わる過程で、印象深いことはありますか？

順心時代の同窓会総会は参加者も多く、体育館に東京会館のケータリングが来るなどとても豪華なものでした。共学になった直後は広学生士の成長を見守りつつ開催していましたが、それから10年の年月を経て、最近やっと新旧の卒業生が協同して同窓会を盛り上げ

ていく体制ができつつあると感じています。

——小沼副会長からご覧になった同窓会の今後の展望や課題などをお聞かせください。

私が高校に入学した当時は順心の歴史ある校舎も一部残っていましたが、建て替えてそれも無くなり、今の広尾生は順心時代のことをよく知りません。学園は来年で100周年を迎えますが、長い歴史のうち90年は順心が築き上げたものです。同窓会活動を通じて両方の卒業生の想いを繋ぐ役割を担っていきたくと思っています。

——最後に松村会長から在校生へのメッセージをお願いいたします。

私自身、学生時代に所属した生徒会活動を通じて心身共によく鍛えられました。失敗をしても先生方が暖かい目で見守り育ててくれるのは、学生時代という特別な期間だけです。在学中にたくさん失敗をして大きく成長し、「自分で考える」ことを身につけた広尾生が社会で活躍することを楽しみにしています。



順心広尾学園同窓会
会長

松村 佳苗さん



順心広尾学園同窓会
副会長

小沼 洗生さん
※ICTルーム担当



順心広尾学園同窓会
会計

坂田 有紀さん



2017年けやき祭同窓会ブース



同窓会進呈の卒業証書ホルダー



制服にもさまざまな歴史が

けやき祭のご報告とご案内

平成29年度けやき祭は秋晴れの中、「成」というテーマをもとに開催いたしました。
 同窓会では、肉まん・ポップコーンを販売し、大盛況のうちに完売いたしました。
 ご来場いただき誠にありがとうございました。
 なお、平成30年度のけやき祭は9/29(土)、30(日)に開催いたします。
 ご来場お待ちしております。



TwitterとFacebookを開設いたしました!
 「けやき」と共に、リアルタイムでの情報を発信してまいります。



Twitter : https://twitter.com/hirogaku_alumni
Facebook : <https://www.facebook.com/junshin.hiroo/>

お名前・ご住所・電話番号などが変更された方へ 早めのご連絡をお願いします。

同窓会では、同窓会名簿の記載変更を受け付けております。
 同封の振込用紙裏面の「同窓会名簿 変更届」に必要事項をご記入の上、同窓会事務局まで送付ください。

送付先 〒106-0047 東京都港区南麻布5-1-14
 広尾学園中学校・高等学校内順心広尾学園同窓会窓口

- ※同窓会名簿の変更につきましては、多少お時間をいただく場合がございます。
- ※同窓会名簿は、公開などしておりません。ご了承ください。

編集後記

このたび6号では紙幅をこれまでの倍に増やし、100周年記念ページや同期会のご報告等新たに掲載させていただきました。発行にあたり、貴重な資料や写真をご提供いただいた、同期会幹事の皆様、広尾学園PTA広報委員会の皆様、(株)ニシノフォト 根岸様には心より感謝申し上げます。

●個人情報の取り扱いについて

順心広尾学園同窓会は、入会時に各卒業生の同意を得た上で個人情報(氏名、住所、電話番号)を取得しています。その利用目的は、同窓会会報の発送、寄付金の募集、その他会活動一般のためとなります。会員ご本人からご自身の個人情報の開示、訂正等希望される場合は同窓会窓口までご連絡下さい。

同窓会より皆様へ

- ・海外在住の方への発送は致しかねます。ご理解いただきますようお願い申し上げます。詳しくは同窓会窓口(カウンセラー室・池上、図書館・曾我部)までお問い合わせください。
- ・今後、学園を会場として同期会の開催を希望される場合は、まずは卒業時の学年の先生にご相談下さい。同窓会も実施に向けてサポートさせていただきます。

※29年度決算報告並びに30年度予算はHPにて掲載致します。

